岐阜大会「クリアファイル」完売! 全国障害者問題研究会 ご協力ありがとうございました。 買った方の凌くんサインは継続します。

第49回全国大会 岐阜2015







荒川智さん

昨年の分まで取り返す熱い論議を」

「戦争法案」により、障害者の権利と尊厳 が蹂躙されようとしています。こういう状況 だからこそ、障害者を巡る実態を明らかにし 真のニーズを掘り起こしていく必要がありま す。まさに全障研の研究運動の出番です。そ (全障研全国委員長) の原動力の出発点になることがこの大会に期 待されています。今年は昨年の分まで取り返 すような熱い討議と成果を期待しています。



尾崎浩之さん (岐阜県知事代理、

祉課長)

「全障研の発展と大会の実りある成果を」

岐阜県としても障害者支援に重点的な取り 組みを行っています。全障研第49回大会が 「清流の国ぎふ」で開催されることをうれし く思うとともに、本大会における活発な研究 協議が今後の障害者支援の発展・充実につな がることを期待します。全障研の益々のご発 県健康福祉部障害福 展と、本大会の実りある成果を祈念します。



土岐邦彦さん

「岐阜に来てよかったという熱い大会に」 岐阜県内で高まっている全国大会への熱い 思いを、全国から参加されたみなさまの期待 と重ね合わせながら、「岐阜に来てよかった」 「明日からの元気がもらえた」と感じてもら える大会にしていきます。大会のシンボルマー (全障研第49回全 クは高等部の生徒の作品、司会も4人の若い 国大会準備委員長)仲間、《劇団・ドキドキわくわく》など、岐 阜の誇るヤングパワーの活躍に注目してくだ さい。日本の真ん中で、平和と発達保障を熱 く語り合いましょう。



中内福成さん

議会)

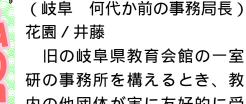
「全障研運動の否定を許さず、前進を」

自公政権は、「戦争する国づくり」「企業 が儲かる国づくり」の具体化に躍起になって います。福祉・医療事業の市場化や大規模化 は、利用者や労働者を金儲けの道具にしよう とするものです。人権無視の虐待的行為が (障害者の生活と権 進行しています。これらは、全障研運動の 利を守る全国連絡協 否定です。今、障害児・者が人間として尊 重される権利としての福祉社会の実現をめ ざす幅広い運動が求められています。社会 福祉の充実を求める運動は、平和を守る闘い に直結するのです。ともに前進しましょう。



郡上踊りを披露し

てくださったのは、各務原郡上踊り愛好会の 皆さんです。日頃は、月2回コミュニティー センターに集まって練習してみえます。会員 は55名です。郡上踊りを年間通して踊りた いとの思いで行ってみえます。風情あふれる 「かわさき」と躍動的な「はるこま」です。 みなさん、いかがでしたか。踊りに込められ た人々の思いにひと時酔いしれていただけた と思います。郡上踊り、素敵!



旧の岐阜県教育会館の一室に全障 研の事務所を構えるとき、教育会館 内の他団体が実に友好的に受け入れ てくれたことを思い出します。当時 は岐阜支部が全国大会を開催するこ となどは、思いも寄らなかったです。 感慨無量です。ほんとうにすばらし いことです。私たちも参加すること で後輩の皆さんを応援します。









































《重点報告》子ども・子育て支援新制度と障害児近藤直子さん(日本福祉大学)

「志高く、人権保障の旗を高く掲げて」

この4月から始まった「子ども・子育て支援新制度」 は、「障害者自立支援法」と同じで、本来国民の基本

的人権として保障されるべき社会福祉の諸制度から行政が手を引き、利用者と業者の「契約関係」という利害関係に落とし込んでいくものです。

国がこうした制度改革を迫られてきた背景には、「介護は家族だけでは

担いされない」「障害児・者も当たり前に地域で暮らしたい」「保育が必要な子がすべて保育を受けられるように」という当たり前の国民の願いの広がりがあります。

様々な選挙で、国民の一番の関心は「医療・社会保障」です。このことを確信に、私たちが 求める実践、発達保障と、私たちが求める制度に関して熱く語り合いましょう。人間の発達へ の篤い信頼のもと、志高く、人権保障の旗を高く掲げ前進しましょう!



基調報告をする妹尾豊広さん(全国委員)

劇団どきどきわくわく

感動のステー

劇団の芝居に会場 の参加者も一体となっ て笑いあり、涙あり の感動の舞台でした。

最後のダンス (EX ILEのChoo Choo TRA

IN)は、圧巻でした。アンコールの拍手で 再びダンス。



大きな感動 をありがとう! カメラマンがら 感激しながら 写真を撮りま した。

司会者のみなさん、お疲れ様です!

参加者突撃インタビュー7



愛知県から参加の沖縄 大好き松田さん。

5年前に愛知で開催した時には分科会で文化活動の大交流会を行いました。その時は岐阜からの

参加ぎなかったので、今日はドキドキワクワクを初めて見にきました。

参加者突撃インタビュー8



高知県から参加の田上さん。

特別支援学級を担当した時には大会に参加するようにしています。夏休みで時間に余裕もあるの

で気楽に勉強して帰ろうと思います。



大会記念出版物

1枚目 「CPおばさんのわるあが記」1800円 著者 小森淳子さん

2枚目 「劇団わくわくどきどき」1600円

著者 土岐邦彦、渡辺武子、河村あゆみ、大橋昌昭

































